



高等学校

国語

全学年

高等学校国語科における「書くこと」の系統的な指導計画の研究
『書くこと』アンケートによる生徒の学習経験の実態把握

「書くこと」の指導にあたって、教員が知っておきたいこと

生徒たちは、「書くこと」の学習経験を
どのように認識しているのか？

「書くこと」の学習過程



生徒の「書くこと」の学習経験に対する認識を学習過程ごとに確認する
『書くこと』アンケートを実施して、**系統的な指導**にいかそう！



実施のタイミングは？

入学当初・年度始め・単元の始めと終わり 等

何が分かる？

生徒の学習経験・必要な支援・学習前後の変容 等

※研究報告では、「『書くこと』アンケート」を「学習前(後)アンケート」としています。

アンケートの作成方法の例は、裏面へ!!

「『書くこと』アンケート」の作成例（中学校「国語」、高等学校「現代の国語」、「論理国語」

「学習指導要領」に基づいて、次の手順で作成をしています。

[設問の作成]

学習過程において、何を行うのかが分かりやすい語句を用いて問う。

指導事項と 選択肢の対応

① 中学校
第1学年
「国語」

② 中学校
第2、3学年
「国語」

③ 高等学校
「現代の国語」

④ 高等学校
「論理国語」
(基礎段階)

⑤ 高等学校
「論理国語」
(応用段階)

- 4 あなたは、文章を書くときに、「何のために、誰に対して、どのような意図をもって書くのか」を考え、「題材(テーマ)を決めること」について、どのような取り組みをしたことがありますか。
当てはまるものをすべて選んでください。

質問	回答欄
① 日常生活で直接経験したこと、学習したこと、友人や家族から聞いたことの中から題材を決める。	
② 地域社会の話題、テレビや新聞などを通して伝えられることなど社会生活全般の中から題材を決める。	
③ <u>実社会</u> ^{※1} の中から、それが社会にとって役立つものか、どのように報告するかを考えて、題材を決める。	
④ 実社会の事柄や、これから専門的に学習を深めたいと考えたことの中から、題材を決める。	
⑤ ④に加えて、ある立場に賛成か反対かなど、書き手としての立場や論じたい点など、様々な観点から情報を集め、整理して、題材を決める。	

言葉の意味)

^{じっしやがいは}
※1 実社会 … 実際の社会のこと。



[選択肢の作成]

【手順1】

中学校段階から高等学校段階の「書くこと」の指導事項を確認する。

参考：『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編』
『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説国語編』

【手順2】

指導事項について、解説本文の具体的な記述に着目する。

【手順3】

指導事項の趣旨が変わらない程度に、生徒に伝わりやすい表現に書き換え、選択肢のかたちに整える。

※詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告(R7)をご覧ください。